

図書館情報メディア研究科 図書館情報メディア専攻（博士前期課程）

(2) 図書館情報学修士プログラム

コモン

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01MB101	知識と情報の世界	1	2.0	1・2	秋AB	水1,2	7A207	緑川 信之, 横山 幹子	知識と情報の概念について、哲学、図書館情報学、その他の領域の知見から検討する。まず、知識とは何かについて検討する。知識の定義には、内在主義と、それに批判的な外在主義がある。知識の内在主義とは、知識であるためには正当化が必要であり、かつ、認識主体自身がその正当化理由にアクセス可能でなければならないという考えであり、外在主義とはその否定である。知識の定義を見た上で、知識の共有について相対主義とその批判という視点から検討する。次に、情報とは何かについて検討する。情報には様々な定義がなされている。まずそれらを概観した上で、情報をモノのように捉える立場とモノではないとする立場について検討する。そして、両者の立場をふまえて、情報をモノとして見た場合の量的把握の方法、情報とコミュニケーションおよびメディアとの関係についてみていく	講義科目
01MB102	システム思考	1	2.0	1・2	春AB	月5,6	7A203	真栄城 哲也, 横山 幹子	対象物が複数の要素から構成され、全体の性質が要素間の相互作用によって決定づけられると捉える視点の考え方や方法論について解説する。前半は「システム」を中心に行い、応用対象として自然界と社会の両者を扱う。後半は「思考」という視点から、「対象物が複数の要素から構成されるという考え」や「全体の性質が要素間の相互作用によって決定づけられるという考え」について扱う。	講義科目
01MB103	インターネットと法	1	2.0	1・2					ネットワーク社会における新たな法的問題について一緒に考えていきます。インターネットが不可欠のインフラとなった現代社会では、プライバシー・個人情報保護、情報公開、著作権や不正競争行為などの知的財産権の侵害、架空請求などの消費者被害、不正アクセスなどのサイバー犯罪、インターネット上の権利侵害とプロバイダの責任、アダルトサイトなどの違法・有害コンテンツ等、様々な課題が存在します。これらの問題は情報セキュリティとも関連します。最近では、ライフログやクラウドコンピューティングにも注目が集まっています。そこで、ネットワークを利用するにあたって現実と直面することが多い問題を取り上げながら、皆さんにも発表してもらい、インターネット問題に対する法的対応を検討します。	2016年度開講せず。 西暦奇数年度は英語で授業 講義科目
01MB104	知的財産の管理と利用	1	2.0	1・2	春AB	金3,4	7A204	村井 麻衣子	知的財産の適切な管理と利用について理解するため、知的財産の基礎的事項を概観したうえで、知的財産に係る具体的事例や法的課題などについて論究する。必要により履修者による関連裁判例・論文等の発表を行う。	01DH327と同一。 講義科目
01MB105	図書館とメディアの歴史	1	2.0	1・2	春AB	木1,2	7A202	呑海 沙織	本科目では、メディアおよび図書館の歴史について学ぶ。前半ではメディア・書物の歴史を中心に論じ、後半では図書館に焦点をあてる。本科目の目的は、1) メディア、書物および図書館の歴史の流れを理解すること、2) メディア、書物および図書館を人的コミュニケーション、芸術、文化、政治、科学、教育といった広い文脈のなかで捉えること、3) メディア、書物および図書館の歴史を通じて、図書館を含めた情報メディアの未来を展望する洞察力を養うことである。講義形式で行うが、毎回討論を促す。	西暦偶数年度は英語で授業 講義科目
01MB106	情報探索と検索	1	2.0	1・2	春AB	木1,2	7C103	手塚 太郎	本科目では、人間と情報検索システムのインタラクションを中心に、情報探索と検索の基礎的な理解を得る。受講者は、サーチエンジンのアーキテクチャやインタフェース機能などのシステム面と、クエリ作成や適合性判定などの検索行動を含むユーザ面の関係を深く考察する機会が与えられる。さらに、情報検索システムの評価手法においても、システム重視のものからユーザ重視のものまで取り上げる。最後に、高度なトピックや最新研究動向を紹介する。	西暦奇数年度は英語で授業 講義科目
01MB107	情報行動論	1	2.0	1・2	春AB	水1,2	7A202	松林 麻実子	1970年代以降欧米を中心に議論されてきた個人の情報行動に関する理論・モデルを概観するとともに、現在主流となりつつある社会的文脈(social context)を重視する研究アプローチについて学ぶことを目的とする。授業は講義形式を基本とするが、理解を深めることを目的として、適宜ディスカッションを行う。また、初回の授業時に指定文献リスト(英文献中心)を配布するので、それを読んだ上で受講してもらいたい。	講義科目

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01MB109	要求分析とプロジェクト管理	1	2.0	1・2	秋AB	金1,2	7C103	手塚 太郎	<p>多数のメンバーが参加して行われるプロジェクトにおいては、メンバー間の連携を効果的に行うためのプロジェクト管理が重要となる。また、顧客や利用者のニーズを適切に捉えることもプロジェクトの成功のためには欠かせない。本授業ではそのための技法である要求分析とプロジェクト管理について、様々な観点から学んで行く。</p> <p>要求分析においては代表的な手法であるオブジェクト指向分析と形式手法について学ぶ。UMLモデリングツールを用い、各種の図の作成を実習する。</p> <p>プロジェクト管理においてはPMBOK(プロジェクト管理知識体系)による分類をベースとし、WBSによる開発工数の見積もりやPERTIによるスケジューリングについて学ぶ。</p>	西暦奇数年度は英語で授業 講義科目
01MB110	テクニカルコミュニケーション	1	2.0	1・2	秋AB	火5,6	7A204	三波 千穂美	<p>現代社会において、専門家は、自らの専門分野について説明する「説明責任」を果たさなければならない。とりわけ、自らの専門分野・研究と社会がどのように関連するかについての「説明」は重視される。</p> <p>本科目では、伝達内容が専門的・技術的なコミュニケーションであるテクニカルコミュニケーションについて解説する。さらに、テクニカルコミュニケーションの「場」や「方法」について体得するため、受講者各々の専門分野の興味深さや社会における重要性を一般市民に伝え、同時に、市民の反応の聴きとりについて実践することを目的に、プレゼンテーション演習およびテクニカルコミュニケーションイベントを行う。</p>	講義科目
01MB111	コミュニケーションと文化	1	2.0	1・2	春AB	火5,6	7A202	照山 絢子, 叶 少瑜	<p>様々なコミュニケーションメディアが登場する中で、コミュニケーションおよび文化の基本的な考え方から両者の関係性までを体系的に学ぶ。</p>	西暦奇数年度は英語で授業 講義科目
01MB151	情報メディア演習B-1	2	2.0	1	春C	月・木 5,6	7A206, 7C102	三河正彦 他	<p>学術研究には、学術研究の方法論があり、研究を効率的に進めるためにはこうした方法論を身につける必要がある。本演習科目においては、受講生が、研究分野について知る方法、学術論文のまとめ方、アカデミアのルールなどを、実習を通じて実践的スキルを獲得することをめざす。本演習科目は、トピックにおうじて複数の教員が担当する形式で実施する。</p>	演習科目
01MB152	情報メディア演習B-2	2	2.0	1	春C	月・木 5,6	7A207, 7C102	三河正彦 他	<p>学術研究には、学術研究の方法論があり、研究を効率的に進めるためにはこうした方法論を身につける必要がある。本演習科目においては、受講生が、研究分野について知る方法、学術論文のまとめ方、アカデミアのルールなどを、実習を通じて実践的スキルを獲得することをめざす。本演習科目は、トピックにおうじて複数の教員が担当する形式で実施する。</p>	演習科目
01MB153	情報メディア演習C-1	2	2.0	1	秋AB	木5,6	7A206	中井 央	<p>各受講者が自分の研究についての発表を行い、それに対して、授業担当教員と受講者全員でプレゼンテーションの仕方について議論を行う。</p>	演習科目
01MB154	情報メディア演習C-2	2	2.0	1	秋AB	木5,6	7A207	松本 浩一	<p>各受講者が自分の研究についての発表を行い、それに対して、授業担当教員と受講者全員でプレゼンテーションの仕方について議論を行う。</p>	演習科目
01MB155	情報メディア演習C-3	2	2.0	1	秋AB	木5,6	7A203	関 洋平	<p>各受講者が自分の研究についての発表を行い、それに対して、授業担当教員と受講者全員でプレゼンテーションの仕方について議論を行う。</p>	演習科目

図書館情報学

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01MB301	テキスト解析	1	2.0	1・2	春AB	金1,2	7A202	中山 伸一, 真榮城 哲也	<p>テキストデータから、様々な知識を抽出する方法論について解説する。一部演習的にも行う。</p>	講義科目
01MB302	デジタルドキュメント	1	2.0	1・2	秋AB	火3,4	7A206, 7C102	松村 敦, 高久 雅生	<p>デジタルドキュメントの例として電子書籍、オンラインジャーナルなどを採り上げ、具体的にその特徴、機能、問題点を講じる。また、これらのデジタルドキュメントを作成して配布する工程として電子出版を採り上げ、従来の紙媒体出版物のみを出版する出版と比較することにより、両者の共通点、相違点を示すとともに相違点が生じた理由も含めて講じる。また、デジタルドキュメントの著作権保護、図書館の役割にも触れる。</p>	講義科目

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01MB303	デジタルライブラリ	1	2.0	1・2	秋AB	金5,6	7A203	宇陀 則彦, 辻 慶太	デジタルライブラリがGoogleを代表とする検索系サービスと異なる点は、それぞれ一定の基準で収集したコレクション群を対象としている点である。Googleが世界中の情報を均一的に扱うことを目指しているとするれば、デジタルライブラリはコレクションの多様性を維持したうえで、つなぐべきものをつなぐことを目指している。もうひとつ重要な点は、利用者の多様性に対応しうるかどうかである。Googleは最大多数の要望に対応する方向を目指しているが、デジタルライブラリはたとえ要望の数が少なくても、個々の利用者要求に応じて情報を発見することを目指している。必然的にデジタルライブラリは、ディスカバリ型(発見支援型)のサービスに向かう。本講義はデジタルライブラリの歴史、要素技術、システム設計、サービス戦略等について総合的に論じる。授業は講義中心に行い、適宜論点を立て、議論を行う。	講義科目 01MB503との重複履修不可
01MB304	デジタルアーカイビング	1	2.0	1・2	春AB	金5,6	7A210	阪口 哲男, 水嶋 英治, パールイシェフ エドワルド	20世紀末のデジタル革命以降、「デジタルアーカイブズ」という言葉は日本社会の中でごく普通に耳にするようになった。しかし「アーカイブズ」とは何か、「デジタルアーカイブズ」とは本来どのようなものか、その理解は必ずしも敷衍化されていない。講義ではアーカイブズ学の基礎理論を踏まえ、従来のアーカイブとデジタルアーカイブの比較検討、アーカイブの前提となるデジタルブリザベーションの諸問題、現在のデジタルアーカイブズにおける技術的問題点、デジタルライブラリとの関わり等について論じる。	西暦奇数年度は英語で授業 講義科目
01MB305	ドキュメント管理	1	2.0	1・2	春A 春A 春B	火1 火2 火1,2	7A207	生貝 直人, 白井 哲哉, パールイシェフ エドワルド 白井 哲哉, 生貝 直人, パールイシェフ エドワルド 生貝 直人, パールイシェフ エドワルド	この講義では、2011年4月施行の公文書管理法を踏まえた、国・国立大学法人・地方公共団体における公文書の取扱い、管理及び保存利用に関する理論的検討と、現場における諸問題の分析を行う。また、公文書にとどまらず民間所在のアーカイブズや海外の資料や議論にも目を配り、新たな時代の歴史的公文書等の管理のあり方を展望する。	講義科目 01MB532との重複履修不可
01MB306	情報メディア組織化	1	2.0	1・2	秋AB	木1,2	7A202	水嶋 英治	本講義では、情報と情報資源の組織化を広範にとりあげる。特にメタデータによる組織化を重点的にとりあげる。とりあげるトピックは以下のとおりである。1)メタデータの設計・管理:情報資源の概念モデリングとその他のメタデータ設計プロセス、メタデータ作成・提供の実態、主要標準(代表的な概念モデルやメタデータスキーマなど)。2)主題分析、語彙統制、分類:主題分析の理論と多様な意味関連、オントロジー工学との関連など教員による説明後、関連するトピックについての受講生による発表と質疑をもって進める。	西暦奇数年度は英語で授業 講義科目
01MB307	メタデータ	1	2.0	1・2	秋AB	火1,2	7A203	杉本 重雄	本講義では、メタデータの基本概念、モデルならびにその応用について、以下のようなトピックについて述べる。 ・ネットワーク情報環境並びにデジタルライブラリにおけるメタデータの基本的考え方と基礎概念 ・ネットワーク情報環境で用いられる主要なメタデータ標準、Dublin Core, MODS, METSなど ・Web上でのメタデータ記述のモデルと応用。たとえばResource Description Framework ・メタデータの相互運用性の課題、Dublin Core Application Profileなど	西暦偶数年度は英語で授業 講義科目
01MB308	公共経営論	1	2.0	1・2					公共経営の在り方、特に近年における地方自治を取り巻く情勢の変化を踏まえ、自治体経営の在り方について論じる。基本的な地方行政制度を踏まえた上で、近年における新しい公共経営(NPM)の考え方や、指定管理者、PFI、市場化テスト、政策評価等の取組を取り上げる。	2016年度開講せず。 講義科目
01MB309	公共図書館	1	2.0	1・2	秋AB	木3,4	7A208	池内 淳, 小泉 公乃	市民に最も身近な図書館である公共図書館に関する基本的事項について、概念、現状、社会的役割、構成要素、効用、経営、評価、政策、行政等の観点から考える。公共図書館に関するさまざまな考え方と最近の公共図書館の変化を重視する。それぞれ、講義を中心に、文献講読、討論も行う。	講義科目

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01MB310	文化的多様性と図書館情報サービス	1	2.0	1・2	春AB	月3,4	7A202	吉田 右子	文化的多様性は21世紀の公共図書館サービスにおいて重要な課題となっている。そうした状況のなかで公共図書館は人種・民族・ジェンダー・性的志向・年齢などに関わる利用者の多様性に基づき適切なサービスを提供する必要がある。本講義では、情報と文化へのアクセスに関して不利な条件に置かれてきたマイノリティ利用者への図書館サービスに焦点を当てる。まず日本、北アメリカ、北ヨーロッパの各地域の公共図書館におけるマイノリティを対象としたサービス事例をみていく。次に多様な図書館利用者を対象とする図書館情報サービスの持つ課題を検討する。さらに公共図書館サービスを社会的・文化的・政治的状况と関連づけながら、マイノリティを対象とするサービスにかかわる理念的フレームワークについて議論する。	西暦奇数年度は英語で授業 講義科目
01MB311	図書館経営論	1	2.0	1・2	春AB	月3,4	7A204	大庭 一郎	本講義では、経営学に関する理論、原則、技法を紹介し、それらの図書館情報サービスへの応用を紹介する。この講義で学ぶテーマには、図書館の役割、種類、制度、経営管理、組織体制、サービス計画、人的資源管理などが含まれる。特に人的資源管理については、現状、社会的ニーズ、訓練と開発についても言及する。	西暦偶数年度は英語で授業 講義科目
01MB312	メディア教育	1	2.0	1・2	春AB	火3,4	7A206	鈴木 佳苗	現在のような情報社会においては、メディアリテラシーの育成が重要な課題になっている。本講義では、メディアリテラシーの概念と国内外のメディア教育の現状について概説し、メディア教育の課題について議論する。また、メディアの影響や、メディアのメッセージやメディア教育プログラムの分析を通してメディアやメディア教育についての理解を深める。	西暦偶数年度は英語で授業 講義科目 01MB522との重複履修不可
01MB313	学校図書館経営	1	2.0	1・2	秋AB	月1,2	7A204	平久江 祐司	学校図書館メディアセンターにおける経営、教育指導、人材育成などの諸問題を日米のコア文献に基づき考察する。指定するコア文献は、年度によって若干の変更はあるが、日本語文献が中心となる。授業は講義だけでなく、指定した文献の中から学生が自由に選択し発表を行う。	講義科目 01MB521との重複履修不可
01MB314	教育政策と情報専門職	1	2.0	1・2	秋AB	金3,4	7A202	溝上 智恵子	大学図書館職員をはじめとする情報専門職が育成・雇用されて運営に携わる場である高等教育機関について理論的に論じる。さらに北米と日本を対象に、高等教育機関の抱える課題とその解決策についての事例研究を行う。なお、高等教育を深く理解するために、初・中等教育も含めた教育の意味、教育制度、制度を構築してきた政策について、その歴史の変遷と課題を学ぶ。	西暦偶数年度は英語で授業 講義科目
01MB315	学術情報基盤論	1	2.0	1・2	秋AB	月3,4	7A206	逸村 裕	大学における教育研究活動と学術情報流通の仕組みを踏まえ、大学図書館の役割、機能、電子ジャーナルと各種電子情報源サービス、情報リテラシー教育、機関リポジトリ、コンソーシアムその他の諸活動、ネットワーク、経営管理について、学術情報基盤、という概念のもとに総合的に学ぶ。	西暦奇数年度は英語で授業 講義科目
01MB316	学習環境の構築	1	2.0	1・2					本講義では学習科学、情報工学、建築学の観点から、人の学習(学び)の支援方法について検討する。前半では、主として図書館と情報技術を用いた学習支援を扱い、後半では建築学的視点から見た学習環境について扱う。基本的に毎回講義形態で授業を行う。	2016年度開講せず。 講義科目
01MB317	資料と文化	1	2.0	1・2	春AB	木5,6	7A202	綿抜 豊昭, 松本 浩一	図書館等が扱う「資料」にはどのようなものがあり、それはどのような歴史を持つのか、またそれはどのような文化を形成してきたのか、またそれを保存したり、修復するにはどのような方法があるか、について講義する。	講義科目
01MB318	古文獻・書誌論	1	2.0	1・2	秋AB	水5,6	7A207	宮崎 和広	近世の和学者の研究対象は古典である。彼らが古典を研究する上で、如何なる書物を如何様に理解して用いていたか？ また彼らが手にした書物は如何なる形で通行していたのか？ 本講では、近世の和学者の研究を支えていた書物とそれに関わる諸問題について考える。その手がかりに、近世後期の国学者平田篤胤の「古史微開題記」を一材料として、文化史・書誌学を含めた様々な観点から、検討を加えたい。	講義科目
01MB351	情報メディア演習A(図書館情報学)	2	2.0	1	春AB	木3,4	7A202	歳森 敦	修士(図書館情報学)の学位プログラムを選択した大学院生が、同学位プログラムにおける研究方法の基礎を演習形式で学ぶ。前半は本専攻で研究のために利用可能な諸資源を紹介するとともに、関連教員の最近の研究成果の紹介を通じて研究領域の概要を学ぶ。後半は質問紙調査の設計・実施・統計パッケージによる集計と報告書の作成について、実際に質問紙を作成し、実査を行うことを通じて身につける。	演習科目

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01MB353	情報メディア特別演習 (図書館情報学)a	2	2.0	2	春ABC	応談		図書館情報メディア専攻指導教員		演習科目 情報メディア特別演習 (図書館情報学)aとbを 併せて履修することで 情報メディア特別演習 (図書館情報学)に相当
01MB354	情報メディア特別演習 (図書館情報学)b	2	2.0	2	秋ABC	応談		図書館情報メディア専攻指導教員		演習科目 情報メディア特別演習 (図書館情報学)aとbを 併せて履修することで 情報メディア特別演習 (図書館情報学)に相当
01MB355	情報メディア特別演習 (図書館情報学)a	2	2.0	2	秋ABC	応談		図書館情報メディア専攻指導教員		演習科目 指導教員に指示された 学生のみが支援室窓口 で履修申請すること
01MB356	情報メディア特別演習 (図書館情報学)b	2	2.0	2	春ABC	応談		図書館情報メディア専攻指導教員		演習科目 指導教員に指示された 学生のみが支援室窓口 で履修申請すること